

支えあいのまちづくり協議体(京橋地域)実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体(第2層協議体)」の令和8年度第1回目を京橋地域で開催しました。

1 実施日

令和8年4月22日(水)10:00~11:30

2 出席者

中央区高齢者福祉課 高齢者活動支援係 2名

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 8名

※欠席者:3名

3 内容

(1) 出席者近況報告

・中央区高齢者福祉課 高齢者活動支援係長 服部氏、高齢者活動支援係 柴田氏の自己紹介と事業説明

①もの忘れ予防検診のご案内 における変更点

②徘徊高齢者探索システム費用助成事業 における変更点

③災害時における避難行動要支援者向けオートコールシステムの導入

来年の4月本格稼働予定

→問合せ先 ①介護保険課 地域支援係 ②高齢者福祉課 高齢者サービス係

③高齢者福祉課 高齢者福祉係

※事業の詳細については進行中、システム構築中のため概要のみ共有

・その後、出席者から近況報告

(2) 意見交換

【昨年度(令和7年)の京橋2層協議体の取り組みについての振り返り】

①ゆるっとつながるサロンの運営

②ゆるっとつながるサロンの次回以降のテーマについて「マップの作成」を検討

【意見】

・高齢者の外出のきっかけになるものはサロン?マップ?いずれにしても広報紙につながる。女性は比較的外出し交流しているため、主な男性高齢者を対象にする。

・すでに発行されているまち歩きマップを参照

- 地域のサロン独自で作成している、テーマを絞った手作りマップ

- 他の2拠点(日本橋・月島)のまち歩きマップ

・京橋地域の地図を広げて参加者でエリアやテーマを検討

→夏祭りなどもあり、お祭り好きな方が多くいらっしゃるため「神社」をテーマにしたらよいのではないかな?

→マップ上で神社の位置を確認した結果、神社が多い新川、入船、湊などを中心に街歩きを今後検討

- ・地域の方に、ゆるっとつながるサロンなどでおすすめの場所などを伺う
効果:通いの場に行く機会ができる。

マップ作りに関わることで自分の役割や楽しさを感じられる。

例) 参加してくれた方のあだ名や似顔絵を入れる など

参加してくださった住民から周辺地域の住民へ本マップを波及できる

- ・街歩きなどで訪れた場所の特集記事をきらきらいふで作る
※エリアとテーマを決定するまで保留

【今年度(令和8年)の京橋2層協議体の取り組みについて】

- ・まち歩きマップを作成する(1~2年程度かけて作成)
- ・目的:主に男性高齢者の外出機会を増やし地域とのつながりを作る

【次回協議体で実施する内容】

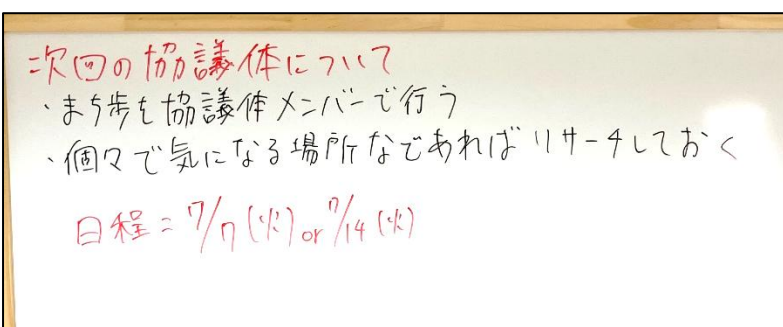
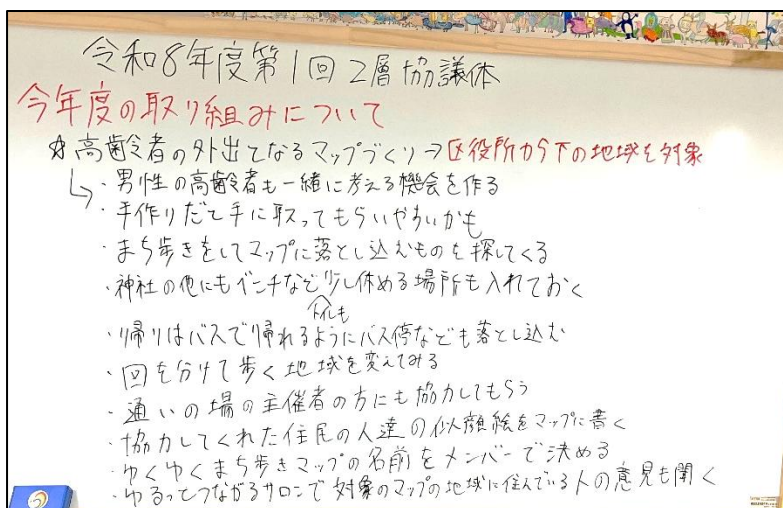
- ・エリアとテーマの検討(「神社」を中心に検討)
- ・協議体メンバーでまち歩きを行う(30分程度)。

※可能であれば個々でリサーチをして、気になる場所があれば、チャットに入れる

4 今後のスケジュール

次回開催日:7月14日(火) 場所:新川周辺で集合(開催日近くになったら改めて周知)
協議体メンバーで街歩きを30分程度行い、その後ツキチカ!で意見交換

<参考> 意見交換の内容を書いたホワイトボード(裏面)



当日写真

